

株式会社BBH(3719) 2010年12月期決算説明資料

2011年3月8日



1. 2010年12月期 決算概要
2. 2011年度の方針及び見通し

1. 2010年12月期決算概要

2009年～2010年の施策と2010年12月期のトピックス

施策

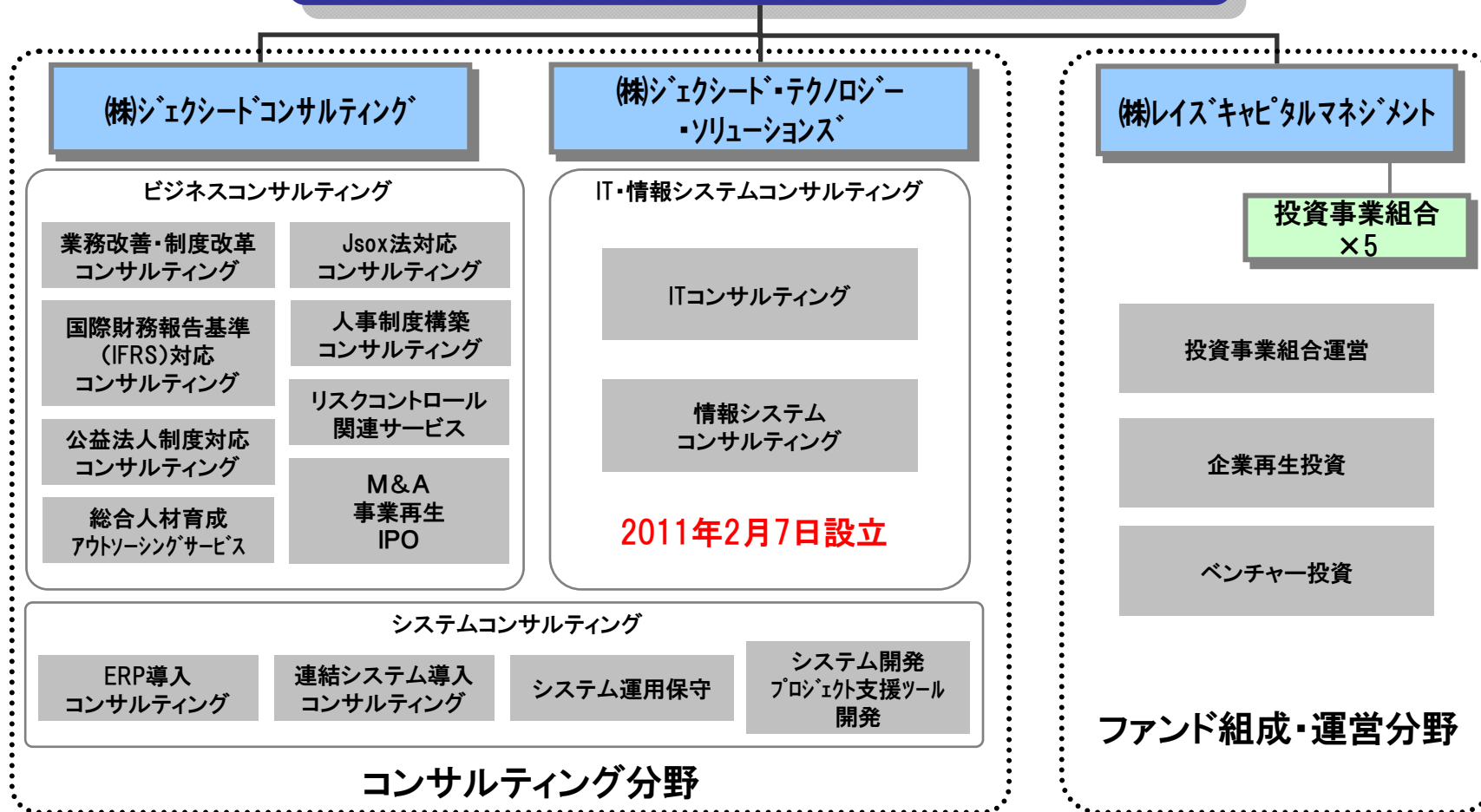
- **財務体質健全化**
(2009年)
 - ✓ 2009年1月に社債の早期償還。借入金の返済。(2010年)
 - ✓ 継続して借入金の返済を実施。連結有利子負債残高を大幅圧縮。
- **コンサルティング事業への回帰(集中と強化)**
(2009年)
 - ✓ (株)Symphony Maxを(株)ジェクシードコンサルティングが吸収合併。(2010年)
 - ✓ 株式会社ビジネスバンクパートナーズを解散し、金融アドバイザリーサービスの提供を(株)ジェクシードコンサルティングへ。
- **コスト削減のための施策実施**
(2009～2010年)
 - ✓ コスト削減の施策
⇒2009年11月に本店の移転を実施
⇒コンサルティング事業の管理・事務部門の集約

一定の成果

- **コンサルティング事業の黒字化**
 - ✓ 同事業の主力である(株)ジェクシードコンサルティングの単体決算の黒字化
 - ✓ 連結事業の種類別セグメントの業績において営業黒字。
- **連結営業利益の大幅な赤字縮小**
 - ✓ 本社移転によるコスト削減により大幅な営業赤字縮小。
- **連結当期純損益の黒字化**
 - ✓ 清算中の元持分法適用関連会社による一部分配により、最終損益を黒字化。

グループ構成(コンサルティング事業の再編)

株式会社 B B H



コンサルティングサービスの提供を集約し、ノウハウの共有の強化、スピーディーかつ綿密なワンストップコンサルティングを実現。

2010年12月期 連結P/Lの概要

(単位:百万円)

	2009年 12月期(連)	2010年 12月期(連)	前年 同期比
売上高	1,166	1,289	123
売上原価	1,039	944	▲95
売上総利益	126	345	218
販売費及び一般管理費	500	387	▲112
営業利益	▲373	▲42	331
経常利益	▲375	▲39	335
特別利益	139	50	▲88
特別損失	78	8	▲70
少数株主損失	▲13	▲6	7
当期純利益	▲304	9	313

• コンサルティング事業の再編により同事業全体のボリュームが増加は大きくないものの、売上総利益においては前年同期より大幅回復。

• 訴訟等により報酬等に一定の計上があるものの、本店移転による家賃の大幅削減、その他のコスト削減効果により縮小。

• 株式会社NSPによる残余財産の一部分配による特別利益が発生

**経常損益、営業損益において大幅な赤字縮小、
当期純損益においては黒字転換を実現。**

2010年12月期 連結B/Sの概要(資産の部)

(単位:百万円)

	2010年 12月期(連)	2009年 12月期末(連)	増減比
流動資産	455	328	38.6%
現金及び預金	109	76	43.0%
売掛金	266	204	30.2%
商品及び製品	16	—	—
仕掛品	6	1	227.8%
前払費用	42	4	770.2%
その他	17	45	▲60.3%
貸倒引当金	▲4	▲5	—
固定資産	231	241	▲27.3
有形固定資産	21	23	▲10.0%
無形固定資産	17	28	▲40.2%
投資その他の資産	225	221	2.1%
貸倒引当金	▲32	▲32	—
資産合計	687	570	20.5%

- 敷金及び保証金の回収(97百万)、配当の受け取り(51百万)、借入の実行(110百万)による現金及び預金の増加
- 借入金の返済(81百万)及び未払金の支払等による現金及び預金の減少

- リスクコントロールに関する新サービスの展開のための費用の前払(※)

- 長期前払費用(※)の増加
- 敷金及び保証金の回収による減少

2010年12月期 連結B/Sの概要(負債の部、純資産の部)

(単位:百万円)

	2010年 12月期(連)	2009年 12月期末(連)	増減比
流動負債	257	186	38.2%
買掛金	64	21	202.2%
短期借入金	50	—	—
一年内返済長期借入金	11	75	▲84.0%
未払金	78	40	91.5%
その他	52	49	6.9%
固定負債	62	20	211.9%
長期借入金	41	—	—
その他	21	20	5.0%
負債合計	320	206	55.0%
株主資本	286	277	3.3%
少数株主持分	80	86	▲7.0%
純資産合計	366	363	0.9%
負債純資産合計	687	570	20.5%

- コンサルティング事業の回復に伴う増加(外注を要する大型案件)

- BBH借入金の返済(7,500万円)
- 子会社(GC)の借入(11,000万円)

- 当期純利益計上のため

2010年12月期 連結キャッシュフロー計算書の概要

(単位:百万円)

	2009年 12月期(連)	2010年 12月期(連)
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲405	▲35
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲28	39
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲985	28
現金及び現金同等物の増加額 (▲減少額)	▲1,420	33
現金及び現金同等物の期末残高	76	109

(主要因)

- 四半期純利益(税前)・・・1百万円
- 売上債権の増加・・・▲61百万円
- 未払金の減少・・・▲11百万円
- 受取配当金受取額・・・51百万円

- 敷金保証金差入、回収(純額)・・・97百万円
- 長期前払費用の取得・・・▲50百万円

- 長期・短期の借入・・・110百万
- 借入金(長期・短期)の返済・・・▲81百万

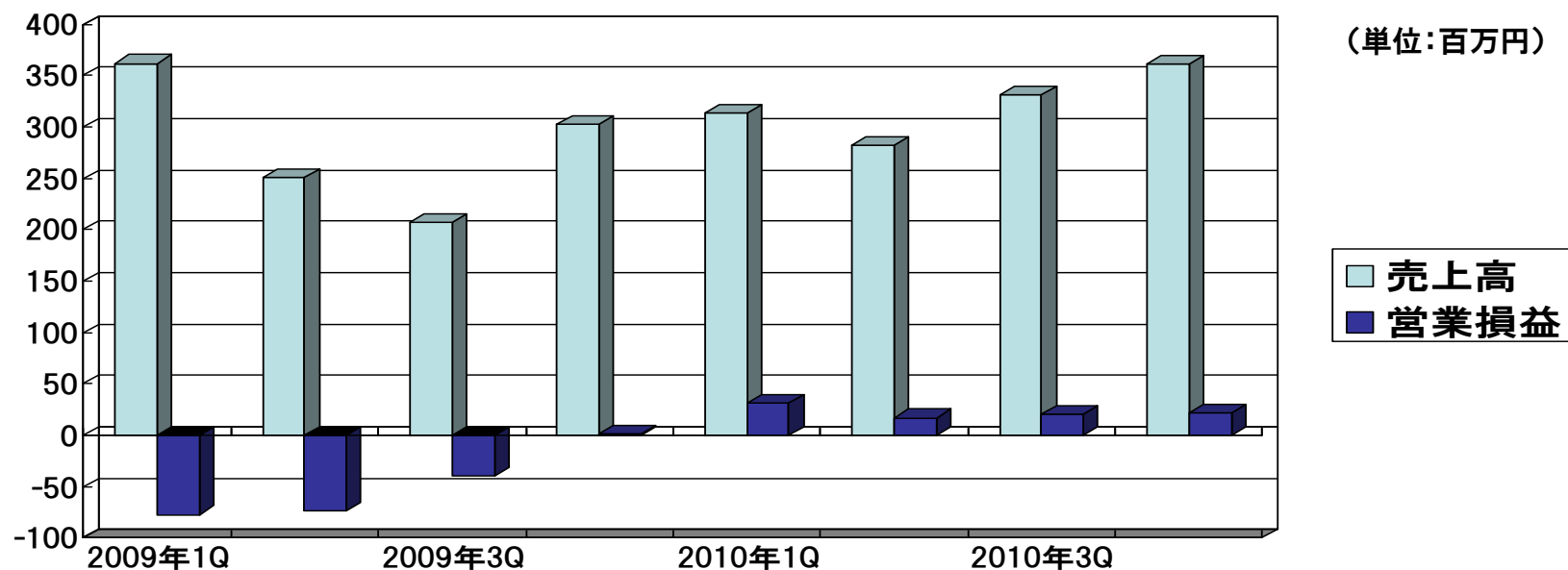
- コンサルティング事業の回復により営業キャッシュ・フローの**大幅改善**。

	営業キャッシュ・フロー
平成19年度	▲109
平成20年度	▲172
平成21年度	▲405
平成22年度	▲35

2009年12月期～2010年12月期 コンサルティング事業の推移

- 当社主力事業「コンサルティング事業」の2009年から2010年までの業績推移
 - ✓ 経済不況の影響及び当社グループの訴訟の影響等により、減少傾向にあった売上も、2009年12月期第4四半期以降、復調。
 - ✓ 同事業の業務改善、コスト圧縮の効果により、セグメント別業績において、2010年は継続した営業利益の確保を実現。今後も継続した利益計上に注力。

	2009年12月期				2010年12月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
外部売上高	362	251	207	303	314	282	331	361
営業損益	▲77	▲74	▲40	1	31	17	21	22



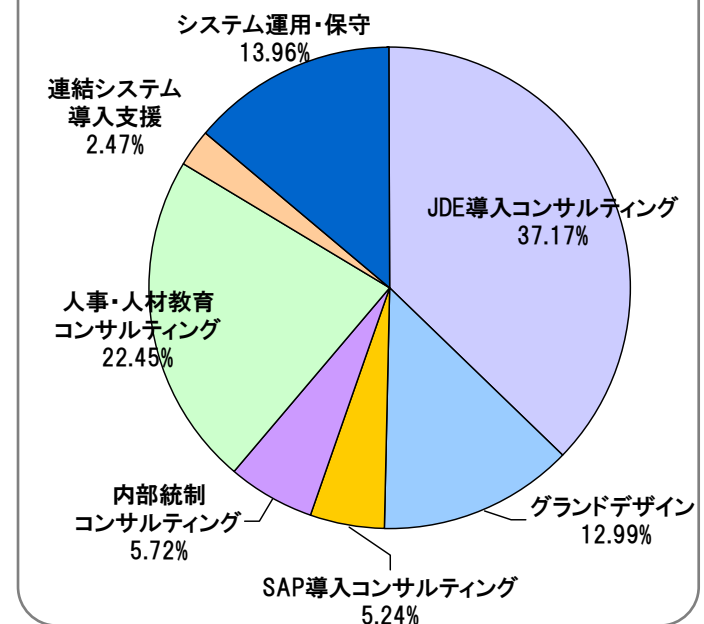
ビジネスコンサルティング

- ✓ 人事領域における制度設計、育成分野での実績を中心に順調に推移
- ✓ J-Sox対応支援コンサルティングは、継続対応等の案件に限定されながらも堅調に推移。
- ✓ 公益法人認定等の制度対応支援において実績の確保
- ✓ 国際財務報告基準(IFRS)への対応コンサルティングとして各種セミナーの実施。個別セミナー等の開催で顧客との関係を構築し、今後の案件化に期待。
- ✓ リスクコントロールに関連する新たなサービスの構築。

システムコンサルティング

- ✓ 景気の復調に伴う企業の設備投資意欲の向上に合わせ徐々に回復。
- ✓ ERP導入に関し、ノウハウをテンプレート化、パッケージとして提供の実績。
- ✓ 効率的な導入手法の確立(短期・低コスト)
- ✓ パッケージ選定前(グランドデザイン)からの案件獲得
- ✓ 対応領域の拡大(流通・製造)

上位20位までのプロジェクト売上高比率



2. 2011年度の方針及び見通し

2011年12月期の基本方針

BBHグループの管理・運営

(株)BBH

- グループ全体の強化、業績向上につながるサービス(グループ構成)の展開を検討。
- グループ各社の営業に積極的に関与し、業績の向上を図る体制の構築。
- 係争中となっている案件の早期解決により業績への影響を軽減。
- グループ全体の効率化、管理、運営コストの更なる削減に注力。

コンサルティング事業

(株)ジェクシードコンサルティング

(株)ジェクシード・テクノロジー・ソリューションズ

- アライアンスモデル(提携先からの下請け)からプライムモデル(直販)への転換の促進。
- 上記のために必要とされるコンサルタントの教育、養成。
- 積極的な人材採用を通じた事業の活性化、事業成長促進。(期中の随時中途採用計画の実行。)
- 新たなサービス、商材の提供の強力な推進。
- 新規子会社の「ITコンサルティング」による相乗効果の発揮。

ビジネスコンサルティング

- ・ リスクコントロールに関連する新たなサービスを積極的に展開する。
- ・ 国際財務報告基準(IFRS)対応、公益法人制度対応等の新たなサービスを積極的に展開する。
- ・ 組織成長の源泉“人財”の採用・開発・管理の仕組み化、定着化を強力に推進する。

システムコンサルティング

- ・ ERP導入テンプレート「GC Smart for Accounting」の積極的展開で優位性の向上を図る。
- ・ 対応領域を拡大し新たな顧客・業種の発掘に繋げる。

IT・情報システムコンサルティング

- ・ 方法論“Gexeed Integration Methodology”を活用したPMOサービスの展開と認知度の向上を図る。
- ・ “CIO Success Library”を基盤としたITコンサルティングサービス案件を開拓する。

ファンド組成・運営分野 (機器販売 その他事業)

(株)レイズキャピタルマネジメント

- 既存ファンドの安定的な運用とコンサルティング事業との相乗効果の期待できる案件の発掘に注力。

2011年12月期 業績予想

- 2011年12月期の基本方針及び現在の経済環境、経営環境等を勘案し、平成23年2月18日開示の決算短信において、以下のとおりの業績を予想しております。

【2011年12月期 連結業績予想】

(単位:百万円)

	2010年 12月期実績(連)	2011年12月期 通期予想(連)
売上高	1,289	1,447
営業利益	▲42	2
経常利益	▲39	1
当期純利益	9	40
1株当たり当期純利益	1円02銭	4円42銭

【2011年12月期 単体業績予想】

(単位:百万円)

	2010年 12月期実績(単)	2011年12月期 通期予想(単)
売上高	80	103
営業利益	▲111	▲86
経常利益	▲103	▲83
当期純利益	▲60	▲14
1株当たり当期純利益	▲6円70銭	▲1円56銭

株式会社BBH
管理本部 IR担当

TEL :03-5456-3051
e-mail :ir@bbank.co.jp

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。